



# みどり



## 136号 『高齢者の自動車運転の特徴』

2019年7月1日発行／編集責任者 田中 眞／毎月1日発行／群馬県藤岡市篠塚105-1

<http://www.shinozuka-hp.or.jp/center/>

昨今、高齢ドライバーの運転する自動車が起こす悲惨な交通事故のニュースが多く取り沙汰されています。認知症等が原因となる事故もありますが、障害を持たない高齢者においても加齢による変化が自動車運転技術に影響を及ぼす可能性もあります。今回は老化が運転技術にどのような影響を及ぼすかをご紹介します。

### 高齢者と若年者の事故内容の違い

40歳以下の若年者の場合、スピードの出し過ぎや脇見運転による事故が圧倒的に多く、衝突事故や追突事故が多くなる傾向があります。

65歳以上では、複雑な交通状況下で、しかも迅速な行動が要求されるときに問題が生じやすいようです。距離感覚と自車走行速度との関係を瞬時に判断できずに生じた事故、あるいは事故相手に早く気づいていてもアクセル・ブレーキ操作等による減速が円滑に行われなかったことによる事故が多くなります。そのため交差点での事故が多く、出会い頭や右折時の事故が代表的です。

以上の若年者との事故内容の違いを踏まえて高齢ドライバーに見られる特徴について確認します。

### 高齢ドライバーの特徴

高齢ドライバーの特徴として、個人差の大きい運動能力以外で、加齢による影響が大きいと

思われるものをご紹介します。

#### ① 視覚

運転に必要な情報の約8割は視覚を通して取得していると言われていています。視力は加齢の影響を強く受け、他の機能に比べても老化現象が早く訪れると言われていています。

具体的には…

- ・暗いところで物が見え始める暗順応の低下や夜間視力の低下。
- ・視野の狭窄（65歳を過ぎると真正面を向いた状態で左右60度程度まで狭まる）。
- ・水晶体の硬化による動体視力の低下

#### ※夜間運転の危険性の高さ。

見落としによる歩行者や対向車との接触事故。

高速度域での道路案内標識の判読困難。

#### ② 反応速度・動作の正確性の低下

「知覚（気づく）→判断→動作機能（ハンドルやアクセル・ブレーキの操作）」のプロセスの速度や正確さが加齢により低下します。単純な状況では若年層とわずかな遅れですが、複雑な状況下となると格差が拡大します。

#### ※対向車に気づいてもブレーキをとっさに踏め

ずに衝突。

交差点内での状況判断ができずに立ち往生。

#### ③ 過信傾向（…だろう運転）

高齢者の場合、交通規則よりも自らの経験則

を重視する傾向が見られます。

#### ※交差点や踏切での一時停止違反。

以上に挙げた特性はその一つのみが原因となって事故を引き起こす訳では無く、様々な特性・環境が複雑に相互しあい事故発生につながります。

#### 事故を起こさないためには…

先ほどの運転特性を踏まえた上で、高齢者の方が安全に運転を行うために以下に気をつけていただきたいことをまとめました。

- ・家族の同乗を依頼する。
- ・慣れた道路のみを走行する。
- ・夜間運転を避ける。
- ・目的地までの道のりを記憶する、カーナビや同乗者に道順を指示してもらう。
- ・車間距離を取り、速度を出し過ぎない。
- ・こまめに休憩を取る。
- ・寝不足や体調が優れない際は運転を避ける。
- ・運転が危険と感じたら運転免許の自主返納を検討する。

#### 欧州諸国と日本の現状

日本と同様高齢社会に突入し、一足早く車社会を実現してきた欧州諸国ではどのように問題に対処しているのでしょうか。実は日本ほど大きな問題にはなっていないようです。

欧州社会では、高齢者は自分自身が運転を危険と感じたら自主的に運転免許を手放す人が多くなっています。それは日本に比べ自主返納へと導く社会環境が整備されている点が大きいようです。

欧州諸国の地方都市では、日本に比べ公共交通機関が整備されているため、運転を断念しても、高齢者にとってその後の生活にあまり不便が生じないようです。20世紀後半に自動車社会が本格化しても、路面電車等が駆逐されることはなく現在でも機能しています。

一方、日本では1970年代になると、自動車が地方都市の道路へ進入していったため、経済効果に勝る自動車のみが生き残り、路面電車や自転車の利用が減少してしまいました。そのため、量販店・病院・公共施設は、広い駐車場を確保するために郊外への移転を余儀なくされ、そしてマイカーを持たなければ買い物にも病院にも行けなくなってしまうため、日本の高齢者は少々の健康上の問題が生じても運転免許を持つ事に執着せざるを得ない状況となっています。

日本で高齢者が積極的に自動車運転免許の自主返納を行うには社会環境が大きな壁となっています。また自動車運転免許が高齢者にとっての自立の象徴の面もあることや、運転をすることが趣味で楽しみという方も多く、自主返納になかなか踏み出せない方も多いのではないのでしょうか。

#### 藤岡市の自動車運転免許返納制度

藤岡市でも平成31年4月から自動車運転免許の返納に際して、各種特典が受けられるようになりました。以下に紹介いたします。

対象者は市内に居住、住民基本台帳に記録されている方で、平成31年4月1日以降に運転免許証を自主返納された方。また自主返納時に満65歳以上の方となります。支援内容は、

- ① 運転経歴証明書の交付手数料を全額助成。  
(1,100円分)
- ② 公共交通利用券等（バス利用券10,000円分もしくはタクシー券5,000円分）

の交付となります。こちらは返納時の1回限りの支援とのことです。自主返納をお考えの方は、是非藤岡市役所までご相談ください。

(文責：作業療法士 八鍬祐介)